

第2回 子育て教育部会

	いただいたご意見	ご意見まとめ
孤立に気づく	①	・ 育児ノイローゼのケアは役所に相談するというだけではケアできないと思う。昔であれば、同居するおばあちゃんや親に相談できた。親子サロンがあるとのことだが、育児ノイローゼになっている保護者が親子サロンに参加しようと思うだろうか。
	②	・ 妊娠期からのフォロー、出産前からの支援を充実させるべきだと思う。
	③	・ 引っ越してきたばかりの世帯の保護者が抱える悩みや課題に気づきにくい。地域の誰ともつながっていないケースがあると思う。
親子の見守り	④	・ 児童虐待やヤングケアラーについて、区でどこまで把握できているのか。地域によっても状況は違うと思う。
	⑤	・ 虐待が疑われるケースについて、学校や役所の網の目から漏れるケースがあると思う。電話以外に通報するツールはあるのか。例えば目安箱やメールなど。
	⑥	・ 虐待は地域の見守りが大事だと思う。民生委員、町会長、地域の役員に話せば必ず役所につながると思う。隣近所で「気づき」を共有することが大事だと思う。
	⑦	・ 就学前の発達障がい児に対する支援はあまり充実していないように思う。
	⑧	・ 発達障がい児を養育しながら自身の仕事が続けにくくなったり、就労していないと保育所に預けられないなど様々な苦悩がある。
つながりの再生	⑨	・ 「こどもの居場所づくり」とは具体的にどのような事業なのか、情報発信は区のホームページでもしているとのことであるが、それ以外の情報発信の仕方はどのようなものがあるだろうか。